

古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 7月28日

開催日	平成27年 7月23日	時 間	10:00～12:00
場 所	金沢公会堂	出席人数	14名
講 師	真田 雅行氏	作成者	深澤 勝美
テーマ	第二学習 ジョン万次郎帰朝記事⑦		
概 要	<p>万次郎帰朝し、北アメリカでの経験など雑話形式で語った続き。この中からの抜粋。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 博奕場は 家の中で二間程の盤を作り、その上で勝負する。 ○ 牛 羊 鳥等の売所あり。馬 豕の鞆丸を切り取り皮を断ち割り、玉を出しその跡に塩を入れる。こうすると馬は精気つよく 豕(ぶた)は味至ってよし。 ○ 烏賊は大きく鯨と見違えるものもある。 ○ 虎 駱駝 尾長猿 狐 犬 鳥獣は日本の物と同じ物なり。竹はなく鳥はいない。虎を捕えるには鉄の延べがねを張った板をもち狩りをする。人に掛ってくる処を板で受留め剣で刺し殺す。皮は細工に、肉は食う。 ○ アメリカ開闢より嘉永5年まで1850年である。年号で云うことなくこの数を以って年暦を数える。 ○ 金をゴールドという。通用金壹枚銀の拾枚に当たる。銀をシルバーと言い銅錢百枚に当たる。銀札は白き紙にて長さ5寸 幅3寸なり。 ○ 白砂糖はウモメという木の皮に切れ目を入れ汁を出して煮て出来上がる。 ○ 桶類は櫂の木等を使い鉄の延べ金を使い作る。 ○ 蒸気船は船底にて火を焚き、その煙(蒸気)にて臼を廻し両脇にある車を廻し その舞う勢いにて船が走る。また陸の荷物を運ぶには船の両方に家形の箱をつけ鉄の車道を敷いて運ぶなり。 ○ 状の往還の飛脚は用いず。1丁毎に棒を立て針金で引っ張りその針金を伝わって文箱往来するごとくで、これで送り継ぎをする。 ○ 店家は石硝子の障子にて囲う。 ○ 傘は日本と同じで木綿にて張り 蠟引きにして骨は鯨のエラでつくる。 ○ 鯨船 新造の時は銀三万枚ばかりかかり仕上げまでに1年ぐらいかかる。 ○ 外療は日本と同じ 灸は使わない。腕より血をとるもある。種痘瘡の手術も行う 		
次回予定	平成27年8月13日 10:00～12:00		於:金沢公会堂3号室
	第一学習 永嶋家文書⑧		